

平成29年度 中学校指導目標

まわりに喜びと光をまく生徒の育成をめざし、一人ひとりの成長を大切にする教育

- ・一人ひとりの可能性と個性を尊重しつつ、キリスト教的人間観を持った生徒を育てる。
- ・基礎学力の定着をはかるとともに、個々に応じた高い学力を身につけさせる。
- ・国際的な感覚を身につけ、グローバルなものを見方ができる生徒を育てる。

具体的指導目標

- (1) あいさつの徹底と自分の意思をきちんと伝える能力の育成
 - *自分から進んで挨拶ができる力を育成します。
 - *場に応じた話し方（声の大きさ、態度）ができる力を育成します。
 - *人前で自分の意見を発表する場（朝のスピーチ等）を設け、自己表現力を育成します。
 - *生徒主体による話し合い活動を取り入れ主体的に活動できる力を育成します。
- (2) 一人一人を大切にするきめ細やかな指導
 - *基本的生活習慣の調査、見直しをして個別に指導します。
 - *継続的な個人面接を実施します。（生活指導・学習指導・進路指導）
 - *生徒の声に耳を傾け、生徒との信頼関係を深めます。
 - *指導にあたっては、教師側は「待つ心」をもち生徒と関わります。
 - *指導にあたっては、生徒自身に自信を持たせるようにします。
 - *スクールカウンセラーとの連携を図り、指導に活かします。
 - *保護者との連携を密に行います。
- (3) 学力向上へ向けての実践
 - *担任と教科担当者との連携を密にします。（宿題、提出物、学習状況の把握）
 - *個々の学力に応じた指導を行います。
 - *必要に応じて補習や個別指導を実施します。
- (4) 学校行事への参加、校友会活動の工夫
 - *学校行事参加の仕方について生徒自身に考えさせ主体的に活動できるようにします。
 - *中学校独自の校友会活動を工夫し、実践できるようにします。
- (5) まわりに喜びと光をまく人になるための実践
 - *ボランティア活動をできるだけ多く取り入れ、奉仕の精神を培える機会をつくります。
 - *周囲の状況を見て、「今、何をすべきか」を自分で考え、行動できる力を育成します。